

令和8年度 学校だより

令和8年7月17日



にしはら

夏休み前号

渋谷区立西原小学校

子供たちは素敵な街「西原」の良さを 様々な方々からたくさん学んでいます

校長 博多 正勝

先週、西原商店街での出来事です。出張からの帰り道。自転車に乗っていました。すると少し遠くの方で年配の女性の方が自転車の運転中に倒れたようで、道路に横たわっていました。自転車のかごにあったと思われる荷物も道路に転がっていました。場所は西原商店街の入り口のコンビニ近くです。

私は急いでその場に向かい、自転車を止めて降りようとした時、ある女性の方が自転車を止めてその年配の女性の助けを始めました。年配の女性の方は幸いにもケガはしてないようで、自力で立ち上がりました。すると、ある男性がさっと現れ、倒れた自転車を元に戻し始めます。私は転がった荷物を自転車のかごに入れている時に、高校生ぐらいの男の子が「大丈夫ですか」と自転車から降りて声をかけてきました。年配の女性は「ありがとうございます。」と感謝の言葉を周りに伝え、ゆっくりとその場から離れていきます。同時にその方の救助をされた方々はさっとそれぞれの方向へ。先ほど自転車を元に戻した男性は乗用車の中に入っていましたので、先ほどの様子を見て、乗用車を降りて救助をされたのでしょう。

時間にしてたった1分ほどの出来事でしたが、私にとってとても心に残る素敵な思い出になりました。困った方にさっと手を差し伸べることで、西原の街の方々の優しさを強く感じました。同時に、その優しさがある街だからこそ、西原小の子供たちの素直さや優しさがたくさんあることを再確認することができました。西原小学校の子供たちは幸せですね。

渋谷区の子供たちは「シブヤ未来科」といって、自分たちの街や地域の良さを学ぶ学習をしています。学習を進めていく過程で、西原を中心に渋谷区に住んでいる方、関わりのある方々等をゲストティーチャーとして、たくさんの方に来校していただいています。また、その方々のお店や働いている場所にインタビューに行っている子もいます。それらの学びを深めていく中で、ゲストティーチャーの方々が、「西原の街や渋谷区の良さを知ってほしい。そして私たち西原小学校の子供たちのことを大切にしたい。」というメッセージを、子供たち自身も強く感じている場面が多くありました。やはり「FACE TO FACE」の繋がりは素敵ですね。私自身も西原の街を更に好きになりました。西原の街のためになにかできないかと。これは大人も子供も同じですね。そうやって大切な文化が受け継がれてきたと思っています。

秋以降も「シブヤ未来科」を柱として、子供たち自身が住む西原、そして渋谷区をより好きになって、自分たちの街に誇りをよりもてるよう、更なる学びを進めていきます。シブヤ未来科を進める上で、多くの保護者の皆様、地域の皆様にご理解、ご協力をいただいております。ありがとうございます。夏季休業日以降もよろしくお願いいたします。

最後に子供たちへ。西原小ならではの自由研究については以下になります。自由研究だけではなく、長い休みでないとできないことや、自分の好きなこと、興味があることに取り組める良い機会です。ぜひ、お家の人と話し合っ、計画を立てて様々なことにチャレンジしてください。8月31日、学校で待っています。

〇2～6年生対象 テーマはSTEAM(スティーム)

身近なことから問題を発見し、自分なりの解決・発信しよう

〇自由研究取組のめあて

- ・探究活動への挑戦・自己調整力・計画力の育成
- ・問題発見解決能力の育成・情報活用能力の向上
- ・言語活用能力の活用

〇対象や内容について 対象 2～6年生

各自、夏休みに自由研究に取り組む。お家の人と相談しながら取り組むことも可だが、自分でまとめる努力をする。

〇賞について 校長賞(学年1点)※校長賞以外に、各クラスでSTEAMごとの賞があります。詳しくは右の説明をお読みください。出品した方全員に「校長努力賞」をお渡しします。

〇賞の設定について

S: 科学 サイエンス賞 科学的な視点

身近な問題から課題を設定しよう

T: 技術 テクニカル賞 タブレット等を活用

出来ることを組み合わせて解決しよう

E: 工学 エンジニアリング賞 技術を活用

解決までの組み立てを考えよう

A: 芸術 アート賞 図画工作の視点

表現を工夫して見やすくしよう

M: 数学 マスマティックス賞 算数を題材に

周りの人が納得する説明を考えよう

五つの賞がありますが、一つの作品に少しずつでも5つの視点・要素が入っているはず。どの視点・要素が優れているかが賞のポイントとなります。